

南九州大学 健康栄養学部食品開発科学科 令和8年度入学試験「出題の意図」

試験区分	出題意図
総合型Ⅰ期	・ 科学的内容に関する論理的な文章表現力を問う (AP1)。 ・ 消費者の立場から食品の適正利用について知識と関心を持っているかを問う (AP4)。
総合型Ⅱ期	この課題は、芋焼酎が持つ地域性と文化的な意義を理解することを目的としている。芋焼酎がどのように地域のアイデンティティや伝統文化に寄与しているのかを探究することで、地域産業の重要性やその持続可能性について考える。また、地域ごとの特色を理解することで、日本の多様な食文化に対する理解度が推察される。(AP4, AP5)
総合型Ⅲ期	人の健康を維持するうえでの食品の重要性について、再認識させる。(AP2)
総合型Ⅳ期	日本における地域課題の問題点や解決策について考えさせる。(AP5)
総合型Ⅴ期	食品の安全に対する知識があるか、また科学的思考で考えることができるか。自分の考えを知識や建設的な意見によって他者に理解を促すことができるか。(AP1, 2, 5)
学校推薦型Ⅰ期	「食品の安全＝国産」という思い込みに対して、自分で調べたり考えたりする力があるか、また食品表示などの情報に目を向けられているかを確認する。(AP2, AP4, AP5)
学校推薦型Ⅱ期	実施せず
社会人Ⅰ・Ⅱ期	実施せず
帰国生徒Ⅰ・Ⅱ期	実施せず
編入	社会的な課題を理解し、多角的な視点から問題点を分析・評価する能力を問う。また問題に対しての解決策を論理的に構築・表現する能力を問う。(AP5)